

街かど

●募集しています

- 短歌
- 俳句
- 詩
- 随筆
- イラスト
- 写真
- まんが
- その他

●町への意見や要望も受け付けます
●文章は苦手というかたは連絡を取材に行きます
●匿名もよいです
●投稿・連絡先は黒崎町大野2843-1
●広報「街かど」係
●377-3101



百聞は一見にしかず―寿学級の移動学習

田辺 正二 (黒崎町寿学級長)

私たち寿学級では、毎年移動学習を年四回計画・実施しております。学級生の皆さんから大変喜ばれ、評判も良いようです。本年も最後の移動学習視察となりましたので、ちょっと紹介したいと思います。



県立自然科学館

十二月一日、朝六時に起きてテレビの天気予報を見ると、曇りで次第に冬型も弱まること、降水確率五十%、気温は最高十五度と予報。まず何と言っても旅行には天気に恵まれることが一番。北風が肌寒く吹く中、自転車と体育館に集合。全員笑顔でバスに乗り、九時十分発車。

最初の見学場所、新潟県立自然科学館には九時四十分に着。朝も早いめか、混雑することもなく、若い女性の案内で館内を見て回る。見る物、聞く物、みな珍しい。特に宇宙からの日本最大の隕石やテレビ電話など。私たちの町の近くにこんな所があるのか、青少年の教育にぜひ見ていただきたいものだ。そんなことを考えているうちに予定した二時間が過ぎました。

休憩後、中国風の庭園、建物を見ました。日中友好記念というところで造られたとのこと。敷地は二十畝(六千坪)で、総工費約二十億円とのこと、目を見張るばかりの出来具合でした。食堂もあるので、家族連れで一日中遊べる所、黒崎にもこんなものがある。出来たらどんなに幸せか、そんなことを語り合いつつ、午後三時に天寿園を出ました。一日愉快な学習会であり、老人もまた少しくらい長生きできたような気がして、帰途につきました。

幼き日の思い出

匿名希望

朝、小学校の教員室わきを通りかかったら、五年生か六年生らしい女の子が先生にお茶を配っている姿が見えました。すると、私の脳裏に三十五年も前、自分が小学校五年生の時の教員室での出来事か思い浮かんで、胸がキューツと締めつけられる思いがしたのです。

それは、今ここで見える子供たちと同じように、私が教員室のお茶当番をしていた時のことでした。当時、梅組と桜組の二クラスあって、私は梅組だったのですが、桜組の担任の先生に突然腕をひっぱられて「○○、こっちは来なさい! たった今ここに置いてあったケシゴム取ったのだろ」と言われたのです。一瞬何事か起こったのかわからなくて、ポカンとしている私に、さらに激しく何かを言われたのですが、もう何を言っているのか聞かれないほど、私はポーツとしていたように思います。やつの思いで、取っていないという意味で首を横に振る私に「うそを言うな」と私のポケットに手を入れて……

結局、その先生の勘違いで、別の方の引出しからケシゴムが出てきました。教員室を出てから、とめどもなく涙が出て止まらず、何もしていないのに、なぜ、というやり場のない怒りがこみ上げてきました。そして、父のいない自分がいやというほど悲しかったのです。

今考えてみても、あの時の先生の気持ちが理解できなくて、幼かった自分の悲しい思い出として忘れることができません。私は時として人が信じられなかったり、うたぐりの心を持ってしまふことがあります。が、幼いころのこんな出来事があったからかもしれません。でも、生まれつきの性分なのかもしれない。ただ、信じられないばかりに相手を悲しませたり、自分自身やり場のない後悔の念にかられてすることが多々あります。もっと素直で寛大にならなければと時々自分に言いかけるのですが、教員室のかわいい女の子たちの幸せを願わずにいられません。

入浴サービスに送迎車

24時間テレビが寄贈
日本テレビの二十四時間テレビ「愛は地球を救う」の一環として、車イスのかたの送迎用リフト付きバスが(株)テレビ新潟放送網から町へ贈られました。車種はニッサンキャラバンチャエアキヤブE24型。車イスの乗降も簡単。入浴サービス事業で活躍します。



近ごろ思うこと

粕谷 欽二 (興野四区)

先日、新聞を読んでいた。次のようなことが出ていました。新潟のある住職の言葉として「宗教なき教育は、魂のない悪魔を育てているようなものだ」。

私も前からこのようなことを感じていたので、いささか述べてみたいと思います。新潟には「米百俵」の話があります。それは戊辰戦争の後、長岡藩が困っていた時、近くの藩から米百俵が寄せら

れたことがありました。その時、家老たちはそれを売って、その代金で藩内の子弟の教育にあてたという話です。これは当時の家老たちの中に教育に關してシッカリした理念があったからこそなされた行為であったと思います。

さんほどのようにお思いではないか。一時期、「日本列島改造論」という言葉が街に回响ったことがありました。その時、私は「日本精神改造論」を叫ぶ人はいないものか、と言ったことがありました。自分だけ、自分たちだけ良ければということではなく「世界的、全人類的に我ら何をなすべきか」という大きな心を育てる教育理念が日本の精神文化の源

短歌

黒崎短歌会

木枯に葉は散り果てし庭の柿梢の熟柿わびしくゆれる
鷲尾 圭角
八十の齡を過ぎし姉といて云い交すなく満月仰ぐ
小出美喜子
さかさまにひまわりの種ついでめる青鷄は幾度も羽搏きており
阿部 浄子
鶯の木の桜古木の太幹に樹皮渦巻きて巨き瘤なす
山田 卯八
眼鏡かけ一つぶ選びの新米を弥彦の神に供えて嬉し
大谷 モト
眠るなく立たすみ仏拝みおれば我をやさしく見守り給う
長谷川トトリ
畑打ちて疲れし我は目の前の小鳥一羽に話しかけたし
笠原 セツ

波渡崎の波おだやかに黄昏れておぼろに見ゆる釣人の影
広瀬八重子
流さるる都の人を慰めし遊女の歌碑を境内に見る
泉井 ヨ子
秋深し咲き残りいるわが庭のサルビヤ赤し赤し目にしむ
波辺 ウタ
合成酒朝日桜を愛飲す休いためず味もさわやか
柏 直樹地
野分後肌寒き朝かん高く霞散と子等の声する
金内 セツ
月の夜一人静かに窓にいてありし日の夫しきり思わる
大矢 キイ
大き口開けてつぶつぶの紅き実がこぼるるばかりのさくる貴いぬ
堀内 昌江
お勝手のくもりガラスに赤々と燃ゆるが如く朝の太陽
宮田 ミイ

俳句

黒崎俳句会 静水選

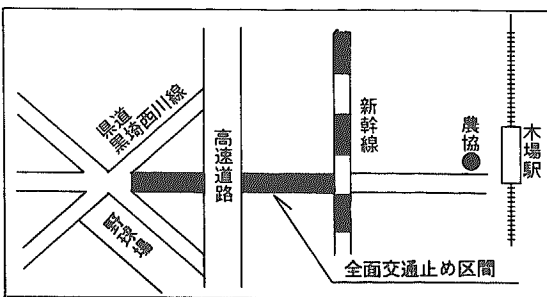
冬晴れに園外保育の児らの列
文雄
百姓の土間の広きよ芽並ぶ
よしお
ぼろ笠に裸で立し冬地蔵
正二
雪吊りの縄声掛けて振り上げ
きよし
ひとり開く紫折戸人気なき初冬
誠伍
木マすべて姿を正して冬に入る
代香

落葉焚く煙も素直山の里
憲治
余生とは変らぬ日よ石路の花
みよし
早蕨のさやの鳴る夜の神迎え
しげ
白鳥の撃たれて悲し冬田かな
睦 治
散り果ててやすらぎを得し冬木立
吉見
はるばると来し白鳥の撃たれし
たか
木の葉髪忘れておりし誕生日
もと
懸大根夕日の中で曲りをり
みどり
予後の夫りハビリ体操去年今年
佐藤 キン
晴天に自作の佩が定まれり
小林とし松

社協だより

交通止め案内 木場地区

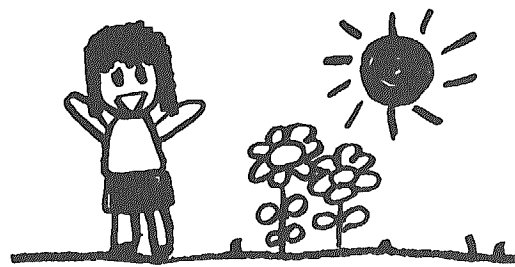
農村総合モデル事業で、野球場(木場)～新幹線を道路改良工事をし、源助橋を取りこわします。1月6日(金)から2月28日(火)まで工事区間を全面交通止めいたします。冬期間通勤・通学者の皆さんにはたいへん不便をおかけしますが、工事災害防止のため、よろしくご協力をお願いします。[?]役場農政課 (☎377-4451)



保育所の入所申請は

1月9日から
20日まで

●申し込みは役場住民福祉課へ。
●詳しいことは役場住民福祉課(内線30)までお問い合わせ下さい。



スパイクタイヤの自粛を

